

平成20年度 9月補正予算案の概要

京 都 府



編成の基本的な考え方

原油価格の高騰をはじめ、厳しい経済情勢等を踏まえ、府民生活の維持のため、3つの緊急対策を講じるとともに、当初予算の編成以降、特に必要な事業について補正予算を編成

3つの緊急対策

- ◆ 原油価格等高騰緊急対策
- ◆ 中小企業経営安定等緊急対策
- ◆ 社会福祉施設緊急支援特別対策

その他

- ◆ 国の予算内示等に伴うもの

3つの緊急対策

①原油価格等高騰

緊急対策



原油価格等高騰緊急対策

特別融資及び冷暖房費助成

4,014百万円

◎障害者施設

冷暖房費等に要する経費を助成

◎農業者・漁業者・畜産業者

農協等が実施する原油価格等高騰緊急特別融資に係る利子補給

◎中小企業者

原油価格高騰対策等特別支援制度による追加融資

省エネ・省コスト対策支援

73百万円

◎障害者施設

エネルギー効率を高めるための設備整備に要する経費を助成

◎漁業者

漁船のエネルギー効率を高めるための船底清掃に要する経費を助成

◎中小企業者

受発注企業間の連携による省コスト等への取組のコーディネート

3つの緊急対策

②中小企業経営安定等 緊急対策



中小企業緊急サポートチームの設置

10百万円

中小企業緊急サポートチームの設置

◎オール京都体制のサポートチームを結成

チーム構成

本庁職員、中小企業技術センター、織物・機械金属振興センター
広域振興局、産業21、商工会・商工会議所、中央会、専門家等

チーム長(商工労働観光部長)

中小企業経営支援
サポートチーム

連携

雇用創出・立地企業
サポートチーム

課題に応じた班編成により中小企業の経営をトータルにサポート

経営安定支援

販路開拓支援

省コスト・
省エネ支援

人材確保・
就業支援

立地促進支援

中小企業緊急サポート窓口の設置(チーム構成機関(産業21等)に設置)



中小企業緊急経営支援対策

資金繰り支援

4,000百万円

◎原油・原材料価格高騰対策緊急金融支援

原油価格高騰対策等特別支援制度等により中小企業の資金需要に対応

販路開拓促進

15百万円

◎中小企業販路開拓促進

商談会・展示会の開催など新規取引先や販路の開拓促進

省コスト・省エネ対策支援

6百万円

◎受発注企業パートナーシップ強化支援

受発注企業間の連携による省コスト・省エネ化への取組を支援

立地促進・雇用確保支援

4,361百万円

◎中小企業立地促進特別対策

補助金・融資による立地支援、求人開拓の強化等による就業支援

3つの緊急対策

③社会福祉施設

緊急支援特別対策



社会福祉施設緊急支援特別対策①

200百万円

社会福祉施設緊急経営支援融資の創設

- 社会福祉法人等を対象に運転資金を低利で融資
貸付限度額 10,000千円以内
貸付利率 年1.9%

3百万円

社会福祉施設緊急経営支援融資の利子補給

- 上記資金を借り入れた社会福祉法人等に対する利子補給

障害者施設冷暖房費助成 10百万円

- 障害者施設に対する冷暖房費等の助成



社会福祉施設緊急支援特別対策②

障害者施設緊急設備整備事業

390百万円

- 障害者施設に対し、施設経営の安定化に資する設備整備に要する経費を助成

◎省エネ・快適環境緊急設備整備

対象経費 空調・電気設備の拡充・改修、水道設備の改修
二重サッシの設置等

◎ほっとはあと製品生産性向上緊急設備整備

対象経費 厨房器具、陶芸用電気窯等

◎安全向上緊急設備整備

対象経費 自動火災報知器、消防署通報火災報知器
スプリンクラー

その他の主な事業



その他の主な事業

国の予算内示等に伴うもの

◎農業集落排水事業(亀岡市、綾部市、京丹後市、与謝野町)

350百万円

◎農業経営構造対策事業(集出荷貯蔵施設等の整備)

258百万円

◎交通安全施設整備(信号機のLED化等)

66百万円

◎歴史的建造物等保存伝承事業(清水寺等)

322百万円

ほか



補正予算の規模

一般会計 10,038百万円

9月補正後予算額 832,489百万円

【 参 考 : ①9月補正後 833,767百万円 】